

# 山行報告書

計画書整理 No.

期 間：2022年1月8日（土）～1月10日（月）

種 別：冬合宿

山 域：八ヶ岳（裏同心ルンゼ、小同心クラック、赤岳主稜）

参 加 者：河本、関（ベルニナ山岳会）

コースタイム：

1/8

7:30 横浜 14:00 赤岳山荘 15:51 赤岳鉱泉

1/9

6:00 赤岳鉱泉 6:12 大同心稜（ルートミス） 6:35 裏同心ルンゼ 8:51 大同心基部

9:27 小同心クラック取付 14:51 横岳山頂 15:48 硫黄岳 16:51 赤岳鉱泉

1/10

6:00 赤岳鉱泉 7:42 赤岳主稜取付 13:28 赤岳山頂 13:59 地蔵の頭 15:06 赤岳鉱泉 17:17 赤岳山荘

20:45 横浜



裏同心ルンゼ

裏同心ツメ

小同心へのトラ

赤岳へ

初日は赤岳鉱泉まで。今年も赤岳山荘まで車で入れたのだが、途中雪でタイヤがスタック。チェーンを履いていたので何とかエスケープできたが、スタッドレスタイヤのみではかなりきつかったと思われる。他に特筆すべきところは幕代であろうか。一人一泊¥2000へ値上がったという事。因みに赤岳山荘の駐車代は1日¥1000で3日分請求された。トータルで一人¥5500の計算になる。なかなかの出費だ。

二日目は裏同心ルンゼでアイスクライミングをやりながら、小同心ルンゼへアプローチし連続登攀を試みたが、裏同心が雪でほぼ埋まっていた。ここではクライミングらしい事はF1でできず、後はほぼラッセル。こんな事ならルートミスしかけた大同心稜でアプローチすれば良か

ったのだが、こればかりは現場に行ってみないと分からない。まあこんなものであろうか。さて本題の小同心クラックであるが、やはり初見での取付へのアプローチは不安が生ずるが、今回は関さんが持参してくれたガーミン GPS によって意外過ぎるほどすんなり取付けた。1P 目は関さんに担当してもらい、そこからつるべで。1P と 2P が難易度があった様に思える。特に私が担当した 2P 目の草付きからルンゼへ戻るトラはかなり緊張した。それでも普段トレーニングしているモミソや鷹取の方が難しく思えた。トレーニングの成果が着実に実っているという事だろうか。その後難なく 7P 程ザイルを伸ばし横岳山頂へ。計画では来たルートそのまま懸垂で降りるつもりであったが、支点が乏しかったので縦走路で下山。硫黄岳を經由して鉱泉に着いたのが 17:00 前であった。6:00 スタートの 17:00 着なので時間的にも悪くないと思われる。

三日目は疲れた体にムチを打って赤岳主稜へ。本当はこのまま帰りたところであったが計画してしまったのでやるしかなかった。個人的には今回 2 回目なのでアプローチも全く問題なく取付けた。我々がトップに取り付いたのだが、このあと同ルートに後続で 4 パーティー 13 名程がひしめていた。やはりこのルートは人気が高い。この日も 1P 目を関さんに担当してもらい後はつるべで。1P 目のチョックストーンは難易度はないが、取り掛かりで難儀していた感じであった。後は 6P 辺りで謎のルートを発見。下から覗く分には行けそうな感じがしたので、ルートを外れている事を承知でそちらに取り付いたのだが、めちゃくちゃ悪く登る事ができなかった。仕方なくハーケンにステナワをかけ懸垂でエスケープ。正規のルートへ復帰したが、1 時間以上ロスした上に、3 パーティーに追い抜かれてしまった。まあ時間にも余裕があったし、別にレースをしている訳ではないのでこれはこれで良しとした。その後は滞りなくザイルを伸ばし赤岳山頂に着いたのが 13:28。1 時間余分に遊んでこのタイムはやはり悪くない。17:17 に鉱泉に帰ってこれた。

今回は横須賀山岳会の冬合宿に、ベルニナ山岳会の関さんに参加していただく形となった。中堅二人が協力し、持てる力を遺憾無く発揮できたのではないだろうか。二人にとって実りの多い山行になったと確信しています。今回は良い山行をありがとうございました。